



日本分析化学会

第74回分析化学討論会

会期 2014年5月24日(土), 25日(日)

会場 日本大学工学部

実行委員長 平山和雄(日本大学工学部)

連絡先 第74回分析化学討論会実行委員会事務局

電話・FAX 024(956)8803

日本大学工学部生命応用化学科 環境分析化学研究室内
〒963-8642 福島県郡山市田村町徳定字中河原1番地

日本分析化学会 第62年会

2013年9月10日(火) ▶ 12日(木)

会場 **近畿大学 東大阪キャンパス**
大阪府東大阪市小若江3-4-1

講演申込開始 2013年4月頃
講演要旨締切 2013年7月頃
懇親会: 2013年9月11日(水)
シェラトン都ホテル



特別シンポジウム 「諸科学のなかの分析化学」

- テーマ1 「地球・環境・放射能と分析化学」
- テーマ2 「医学・薬学と分析化学」
- テーマ3 「計算科学と分析化学」
- テーマ4 「社会科学と分析化学」

実行委員長 掛樋 一晃(近畿大学 薬学部)
連絡先 日本分析化学会第62年会実行委員会事務局
TEL (06)6730-5880-5550 FAX (06)6721-2353
〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1
近畿大学 薬学部 薬品分析化学研究室内



公開シンポジウム

基礎科学のなかの分析化学教育

中高生の理科系への関心が高まりつつありますが、社会が求めているのは定量的な議論ができる理系人材です。分析化学は物質の組成を化学的に決定し、数量化する学問として、様々な科学の進歩を支えてきました。分析化学会では分析化学の役割をもう一度見つめ直し、子供達にサイエンスのすばらしさを伝えたいとの思いから、下記のタイトルで公開シンポジウムを開催いたします。
教員のみなさまはもちろん、学生さんも大歓迎です。
ふるってご参加ください。

日時： 2013年9月12日（木） 9:00～12:00

会場： 近畿大学十一月ホール・大ホール(東大阪市小若江3-4-1)
入場無料です。

- 挨拶・趣旨説明
加納健司（京都大学大学院農学研究科）
- 大学における分析化学教育・分析化学実験の現状
樋上照男(信州大学理学部)
- 高校の化学教育の現状と大学への要望
加藤正宏（京都府立桃山高校）
- 高校生のための体験化学教室からみた大学教育のあり方
内山一美（首都大学東京都市環境学部）
- 高大連携の視点からみた分析化学教育
横井邦彦（大阪教育大学教育学部）
- 企業における分析化学教育と大学への提言
浦上康司（武田薬品工業CMC研究センター開発分析研究所）
- パネルディスカッション

公開講座(大阪ゆかりのシンポジウム)

ものづくりを支える分析化学

ものづくりの現場では製品管理はもちろん、材料の評価や環境の保全など、さまざまな場面で分析化学が活躍しています。

日本分析化学会第62年会では、下記のタイトルで公開シンポジウムを開催いたします。

ものづくりの現場で活躍されているみなさまや分析化学に興味のある学生さんのご来聴を歓迎します。

日時: 2013年9月11日(水) 9:00~12:00

会場: 近畿大学本部EキャンパスG館2階G-201教室(東大阪市小若江3-4-1)
入場無料です。

■ 挨拶・趣旨説明

大塚利行(神戸大学大学院理学研究科)、中山茂吉(住友電気工業 解析技術研究センター)

■ 製品の開発研究を支える分析技術 – 住友化学の研究分析

岡田明彦(住友化学(株)先端材料開発研究所)

■ 分析評価の高度化が支えるめっき技術の進化と深化

藤原 裕(大阪市立工業研究所 電子材料研究部)

■ 放射光利用分析を活用した生産プロセス開発支援

飯原順次(住友電気工業 解析技術研究センター)

■ 電池開発における機器分析の応用

伊藤浩一(パナソニック(株)R&D本部デバイスソリューションセンター)

■ パネルディスカッション

「分析化学討論会」特集の論文募集

「分析化学」編集委員会

「分析化学」編集委員会は、本年 5 月に北海道大学函館キャンパス（水産学部）で開催される第 73 回分析化学討論会における討論主題に関連し、「マリンサイエンス ～分析化学からのアプローチ～」(総合論文, 報文, 技術論文, ノート, アナリティカルレポート) を下記の要領で募集します。

分析化学が求められ、活躍しているフィールドは基礎から応用まですべての分野であることは間違いありません。社会の危機に直面したとき、未開拓の分野を切り開くとき、そして身近に感じていたフィールドをより深く理解するとき、そのいずれにも貢献しています。第 73 回分析化学討論会では、このような観点から「3.11 から考える分析化学 ～復興・研究・教育～」, 「宇宙と生命の謎に迫る ～分析化学の挑戦～」, 及び「マリンサイエンス ～分析化学からのアプローチ～」が主題として取り上げられました。これらはいずれも、分析化学が重要な役割を果たしているテーマです。

本特集号では、その趣旨を酌み、「マリンサイエンス ～分析化学からのアプローチ～」に関する成果を広く募集するものです。討論会での発表の有無にかかわらず、多数のご投稿をお待ちしております。

記

1. **特集論文の題目**：「マリンサイエンス ～分析化学からのアプローチ～」
2. **特集論文の対象**：上記題目にかかわる基礎的あるいは応用的な研究論文。
3. **論文の種類**：総合論文, 報文, 技術論文, ノート, アナリティカルレポート。
4. **特集論文の投稿規定及び投稿の手引き**：一般論文に準拠（「ぶんせき」2013, No. 3, または <http://www.jsac.jp/sites/default/files/toko-j.pdf> 参照）。
5. **特集論文の審査方法**：一般論文の審査方法に準拠。
6. **特集論文の申込方法**：投稿カードに所定の事項と赤字で「分析化学討論会 特集論文」（論文種目の右側）を記入して、「分析化学」編集委員会あてにお申し込みください。なお、投稿カードのうち、題名、著者名は暫定のもの、原稿予定枚数などの未定部分の記載は不要です。また、投稿は極力電子メールにてお願いします。電子原稿の投稿要領（<http://www.jsac.jp/node/51> 参照）にて作成した PDF ファイルを添付してお送りください。なお、電子メール投稿ができない場合には、郵送にてご投稿ください。
7. **特集論文の申込締切**：2013 年 5 月 31 日（金）
8. **特集論文の原稿締切**：2013 年 7 月 19 日（金）必着
9. **特集論文の掲載号**：期限内に審査を通過した論文は、「分析化学」第 62 巻 第 12 号（特集号）に掲載します。ただし、その他の論文は一般論文として他の号に掲載します。
10. **特集論文に関するお申し込み・問い合わせ先**：〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号（公社）日本分析化学会「分析化学」編集委員会 [電話：03-3490-3537, E-mail：bunkatoukou@jsac.or.jp]

Analytical Sciences (学会英文論文誌) 30周年記念特集号

「State-of-the-Art Analytical Science and Technology」ミニレビュー (短編の総説) の募集

Analytical Sciences 編集委員会

本学会発行の Analytical Sciences (学会英文論文誌)は、1985年1巻の発刊以来30年が経過し、来年2014年1月より30巻を迎えます。この機会に編集委員会では、「30周年記念特集号」を企画いたします。特に2014年1号は、「State-of-the-Art Analytical Science and Technology」と題して、最新の研究をまとめたミニレビュー(最長8ページまでの総説)を中心とする記念特集号とする予定です。

皆様方におかれましては、是非この機会に、ご自身のこれまでの最新の研究をまとめた魅力的なミニレビューをご投稿いただきたく、奮ってご投稿ください(ご自身の研究のハイライトが世界に発信されます)。投稿の締切は2013年9月9日(月)です。なお、審査は通常通り行います。また、掲載するレビューが多い場合には、2号以降の掲載になる場合があることをご了解ください。

編集委員会では、「Quality First(質が第一)」をモットーに、これからも国際分析化学専門誌としてのステータス向上を会員の皆様とともに積極的に考えて参ります。Analytical Sciences に、質の高い論文を多数ご投稿いただき、引き続きのご支援をお願いいたします。

記

Analytical Sciences ミニレビューの募集 :

- ◇ 2014年「30周年記念特集号」: 題目「State-of-the-Art Analytical Science and Technology」
- ◇ ご自身の最新の研究のハイライトをまとめたミニレビュー(刷り上がり3ページ以上で8ページまでの総説)をご投稿ください。
- ◇ 投稿規定は、以下のWebをご覧ください、通常の規定に従ってお書きください。電子投稿になっております。なお、投稿種別はReviewsとし、原稿の最初の行(タイトルの前)に、「AS30 State-of-the-Art」とお書きください。

<http://www.jsac.or.jp/analsci/info.php/authorinfo.html>

- ◇ ミニレビュー投稿の締切: 2013年9月9日(月)

(問い合わせ先: ご質問は、大阪大学 塚原 聡(編集理事) sxt@chem.sci.osaka-u.ac.jp, または慶應義塾大学 鈴木孝治(編集委員長) suzuki@applc.keio.ac.jp へご連絡ください。)

【 予 告 】

■ 第 74 回分析化学討論会

会期：2014年5月24日（土）～25日（日）

会場：日本大学工学部（福島県郡山市）

*会期、会場は変更する場合があります。

■ 日本分析化学会第 63 年会

会期：2014年9月17日（水）～19日（金）

会場：広島大学東広島キャンパス（広島県東広島市）

*会期、会場は変更する場合があります。